

樹林

目黒川沿いの斜面林を再現



コナラ

雑木林に多くみられる落葉高木で、幹は薪や炭、落ち葉は堆肥に利用されました。

クヌギ

コナラとともに雑木林に多くみられる落葉高木です。ドングリは丸く、ぼうしはトゲ状です。

イヌシデ

武蔵野の雑木林によくみられる落葉高木です。ホップのような実がなります。

ヤマザクラ

日本の代表的な野生のサクラです。4月頃、若葉が出ると同時に花を咲かせます。

ガマズミ

初夏に白く小さい花が集まって咲く落葉低木です。秋に赤い実をつけます。

オオタカ

カラスくらいの大きさの猛禽類です。樹林で繁殖し農地や河川などでハト類やカモ類などを捕食します。

メジロ

12cmくらいでスズメより小さく、目の周りが白いのが特徴です。花のミツや果汁が大好きです。

セキショウ

溪流などにみられる常緑多年草です。細長い葉が特徴で、春にうすい黄色の穂を伸ばします。

コウホネ

夏に鮮やかな黄色い花が咲く水草です。根が骨のようにみえることからコウホネ（河骨）と名づけられました。

ミソハギ

湿地でみられる多年草です。夏から初秋にかけて、紅色の目立つ花を咲かせ、お盆の花に使われました。

モツゴ

8cmくらいの大きさで、クチボソとも呼ばれます。かつては小川やため池などに多くみられました。

シオカラトンボ

日本中の水辺で多くみられる中型のトンボで、成熟すると、オスは青白く体色が変わります。

フタバコカゲロウ

かつての目黒川流域の湧水地のような、溪流に生息する小型のカゲロウで、ここでは5月に発生します。

小川の流れや池を再現

流れ・池



草地

馬や牛のえさ場となっていた草地を再現



オミナエシ

8月から9月にかけて、黄色い小さな花がたくさん集まって咲きます。秋の七草のひとつです。

オオトラノオ

初夏に白く小さい花が集まって咲く多年草で、先っぽが虎の尾のようにたれ下がります。

カワラナデシコ

夏から秋に可憐な花を咲かせる多年草です。秋の七草のひとつとして親しまれています。

キキョウ

6月から8月にかけて、青紫色の星型のような花が咲きます。秋の七草のひとつです。

チガヤ

イネ科の野草で春に白い穂をつけ、秋には紅葉します。若い穂には甘味があり、昔は子どもが食べていました。

チョウ類

モンシロチョウ、キタキチョウ、ナミアゲハ、ツマグロヒョウモンなどがよくみられます。

バッタ類

オンバッタやヒシバッタ、イナゴなどがよく見られます。秋にはオカメコオロギが鳴きます。

コナギ

夏の終わりに青紫色の花を咲かせる1年草です。増えすぎて田んぼ一面に広がることもあります。

シャジクモ

田んぼや池に生える藻類で、植物の祖先にもっとも近いグループの仲間です。絶滅危惧種に指定されています。

カルガモ

一年中みられるカモで、雌雄の色はほぼ同色です。主に水辺の草等を食べ、水生昆虫なども食べます。

ミナミメダカ

古くから日本人に親しまれてきた3cmくらいの小さな魚で、かつては水田や小川で多くみられました。

カワニナ

ゲンジボタルの幼虫がよく食べることで知られている小さな巻貝の仲間です。

ヤゴ

ヤゴはトンボの幼虫です。水田では、シオカラトンボやアキアカネなどのヤゴがみられます。

草土手に囲まれた水田を再現

水田

